

札幌市埋蔵文化財センター

埋蔵文化財展示室更新
基本計画

平成25年3月
札幌市

目次

第1章

基本方針の策定にあたって…………… 1

- 1 埋蔵文化財展示室更新の目的
- 2 埋蔵文化財展示室更新事業の位置付け
- 3 基本方針の策定から展示室更新までの流れ
- 4 検討委員会の設置
- 5 検討経過

第2章

埋蔵文化財展示室の現状…………… 4

- 1 埋蔵文化財センター設置の経緯
- 2 埋蔵文化財センターの概要
- 3 展示室の概要
- 4 展示室の位置付け
- 5 展示構成

第3章

埋蔵文化財展示室の役割…………… 6

- 1 埋蔵文化財センターの設置目的
- 2 埋蔵文化財センターが行う事業
- 3 埋蔵文化財展示室に求められる機能
- 4 展示すべき内容

第4章

埋蔵文化財展示室更新の基本方針…………… 7

- 1 展示室更新のコンセプト
- 2 対象とすべき利用者
- 3 展示構成
- 4 展示手法
- 5 運営

第5章

埋蔵文化財展示室更新の基本計画…………… 9

- 1 展示計画の考え方
- 2 展示構成のポイント
- 3 情報計画
- 4 運営計画

第6章

更新に向けた今後の計画…………… 13

基本方針の策定にあたって

1 埋蔵文化財展示室更新の目的

展示室はこれまで、収蔵物を公開する企画展示、体験コーナーなど普及啓発事業の中心として、多くの市民に利用されています。しかし、開館から20年が経過し、施設の老朽化とともに、展示内容の旧態化も目立ってきていることから、近年の埋蔵文化財の調査成果を活かした展示室の全面的更新が求められています。

2 埋蔵文化財展示室更新事業の位置付け

第3次札幌新まちづくり計画

【政策目標5】 市民が創る自治と文化の街

[重点課題2]

『多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しみ健康づくりを推進するまちづくり』



観光文化局実施プラン

局の運営方針

「優れた文化遺産や自然遺産を適正に保存し、伝承していくとともに、
集客交流資源として積極的に活用する」

まちづくりの施策[重点施策2]

『札幌の特色を活かした文化芸術の振興』



【埋蔵文化財センター展示室更新事業】基本方針策定



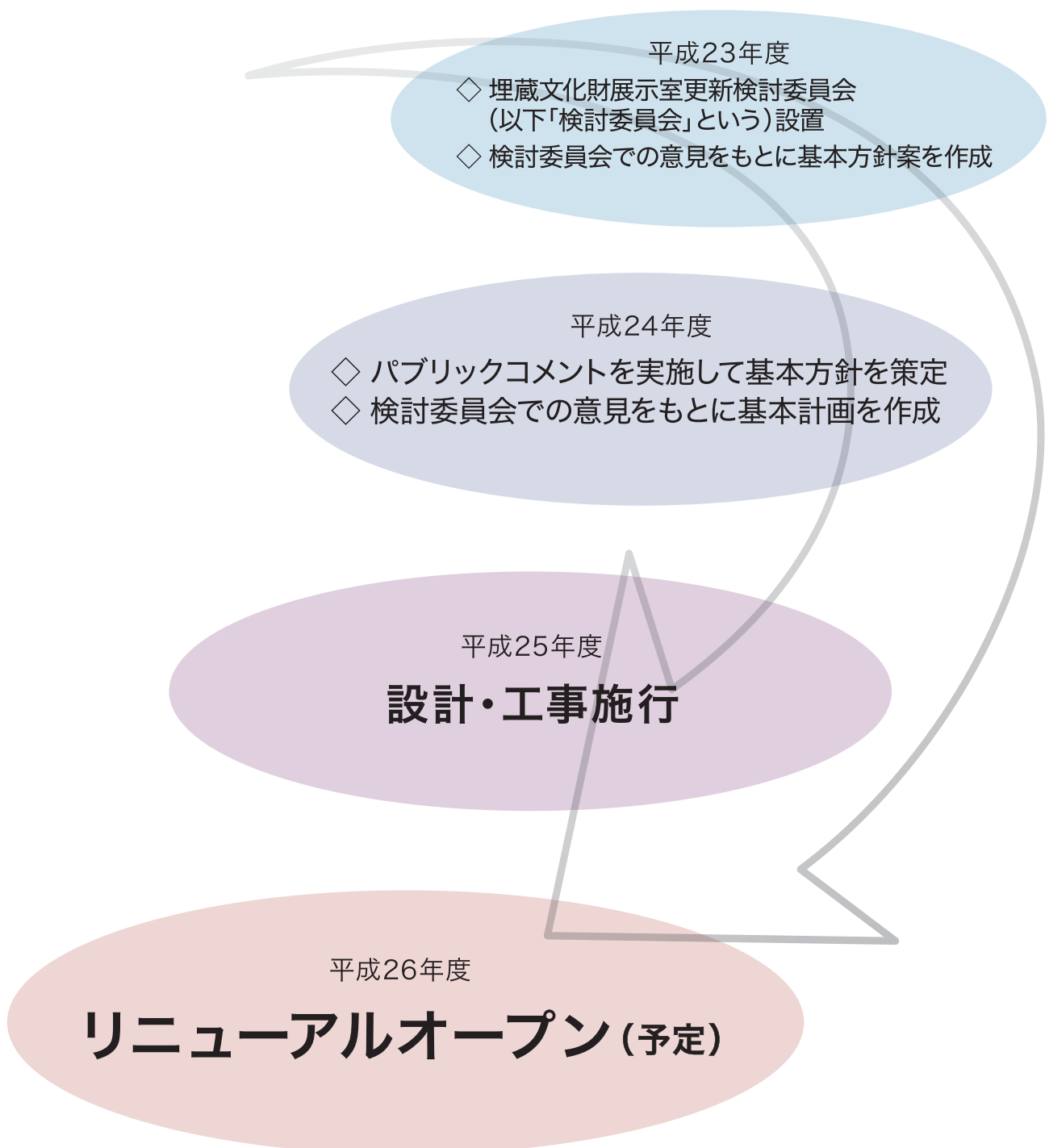
埋蔵文化財展示室更新 基本計画



設計・施工・リニューアル

本事業は、「さっぽろ元気ビジョン第3ステージ」に掲げる「まちづくりの基本的な方向」を実行に移すためのプランとして、長期総合計画の方向性を踏まえながら、優先的・重点的に実施する施策・事業を定める「第3次札幌新まちづくり計画(計画期間:平成23年～平成26年)」において、政策目標「市民が創る自治と文化の街」、重点課題「多彩な文化芸術の創造とスポーツを楽しむ健康づくりを推進するまちづくり」に位置付けられたものです。

3 基本方針の策定から展示室更新までの流れ



4 検討委員会の設置

埋蔵文化財展示室更新事業を進めるにあたっては、これからの埋蔵文化財展示室のあり方を軸とした基本方針及び基本計画をまとめるために、考古学などの専門分野における学識経験者や学校教育などにおける有識者から意見を聴取することを目的として、検討委員会を設置することとしました。

<「埋蔵文化財展示室更新検討委員会」委員構成>

座長	越田 賢一郎	札幌国際大学 教授
副座長	川名 広文	札幌大学 教授
委員	阿部 一司	社団法人 北海道アイヌ協会 札幌支部長
	右代 啓視	北海道開拓記念館 学芸員
	加藤 博文	北海道大学アイヌ・先住民研究センター 教授
	小杉 康	北海道大学大学院 教授
	古原 敏弘	北海道立アイヌ民族文化研究センター 研究主幹
	平間 吉春	元北海道退職校長会 会長
	深澤 百合子	東北大学大学院 教授

5 検討経過

平成23年度 埋蔵文化財展示室更新検討委員会「基本方針」策定

- ①第1回 検討委員会 議題1：委員会の進め方について
議題2：展示室の現状について

- ②第2回 検討委員会 議題1：展示室に求められる役割・機能
議題2：最近の展示手法の紹介
議題3：北海道内の類似施設の紹介
議題4：埋蔵文化財展示室更新案について

- ③第3回 検討委員会 議題1：第2回検討委員会議事内容の確認
議題2：埋蔵文化財展示室更新基本方針案について

- ④第4回 検討委員会 議題1：埋蔵文化財展示室更新基本方針案の取りまとめ
議題2：平成24年度検討委員会について

①第1回 検討委員会 議題1：平成24年度検討委員会の進め方について
議題2：展示室更新案についての検討(その1)

②第2回 検討委員会 議題1：展示室更新案についての検討(その2)

③第3回 検討委員会 議題1：埋蔵文化財展示室更新基本計画についての検討

④第4回 検討委員会 議題1：埋蔵文化財展示室更新基本計画の取りまとめ

第2章 埋蔵文化財展示室の現状

1 埋蔵文化財センター設置の経緯

埋蔵文化財センターは、埋蔵文化財の保存に関する相談や遺跡の発掘調査、出土した遺物・記録などの整理・研究、収蔵・展示を行う施設として、平成3年3月に開館しました。

2 埋蔵文化財センターの概要

所在地：札幌市中央区南22条西13丁目
建物構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
延床面積1,729㎡
地上2階、地下2階
建築面積639㎡
※札幌市中央図書館と併設



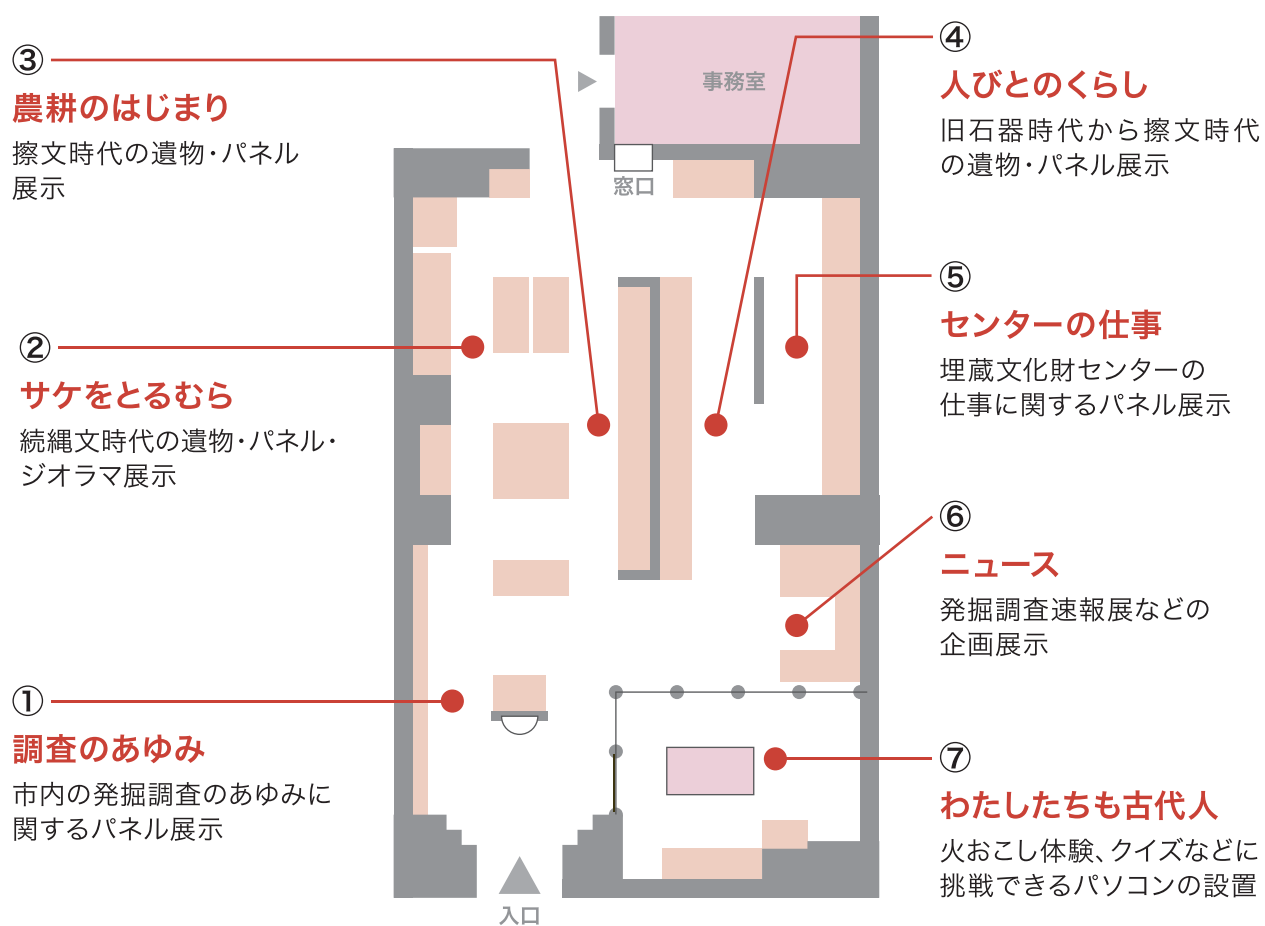
3 展示室の概要

配 置：埋蔵文化財センター1階
延床面積：173.74㎡

4 展示室の位置付け

展示室は、『札幌市埋蔵文化財センター条例』に基づき、設置・公開・運営を行います。博物館法に基づく「博物館」、「博物館相当施設」ではありません。

5 展示構成



埋蔵文化財展示室の役割

1 埋蔵文化財センターの設置目的

埋蔵文化財センターは、「埋蔵文化財の保存と活用を図り、もって市民の文化的向上に資する」ために設置された施設です（『札幌市埋蔵文化財センター条例』）。

2 埋蔵文化財センターが行う事業

- ① 埋蔵文化財の調査及び研究
- ② 埋蔵文化財に関する資料の収集、整理、保存及び活用
- ③ 埋蔵文化財に関する知識の普及
- ④ その他目的を達成するために必要な事業

3 埋蔵文化財展示室に求められる機能

- ① 埋蔵文化財の保護に関する理念を市民に発信すること
- ② 市内の埋蔵文化財に関する最新の情報を市民に発信すること
- ③ 市内の埋蔵文化財を通して札幌の歴史を市民に発信すること

4 展示すべき内容

- ① 市内の埋蔵文化財の保護に関する歴史や仕事内容
- ② 市内の埋蔵文化財に関する最新の発掘調査成果
- ③ 市内の埋蔵文化財に基づく札幌の歴史

埋蔵文化財展示室更新の基本方針

1 展示室更新のコンセプト

埋蔵文化財展示室の役割は、埋蔵文化財展示室に求められる3つの機能を通して、「札幌の埋蔵文化財」を広く市民に知ってもらうこと、さらに、「札幌の埋蔵文化財」を通して「札幌の歴史」を広く市民に理解してもらうことと言えます。

この役割を果たすために、下記の3つの展示を目指すことを、更新のコンセプトとします。

- ①最新の発掘調査成果の展示を行います。
(アイヌ文化期の出土資料を新たに展示)
- ②旧石器時代からアイヌ文化期までの通史展示を行います。
- ③収蔵資料を活かし可変展示を取り入れます。

2 対象とすべき利用者

対象とすべき主な利用者は、埋蔵文化財展示室に求められる機能で示したとおり、ひろく市民となりますが、観光都市を目指す札幌市の公共施設として、国内外の観光客向けの情報発信にも考慮する必要があります。

また、小学校高学年以上の児童・生徒が理解できる展示を心がけます。

3 展示構成

展示の構成要素としては、以下の内容が考えられます。

- ・収蔵資料を活かしたテーマ展示
- ・札幌の埋蔵文化財をわかりやすく紹介するガイダンス展示
- ・最新の発掘調査成果を取り入れた、旧石器時代からアイヌ文化期までの通史展示
- ・札幌における埋蔵文化財保護の歴史や仕事を紹介する展示
- ・小学校高学年以上の児童・生徒を対象とする歴史教育や校外学習の場としての体験コーナーの設置

4 展示手法

前項の展示を構成する展示手法については、下記の点を考慮する必要があります。

- ① 最新の情報を発信できるように、可変性の高い展示手法を取り入れます。
- ② 木製品や金属製品などの展示資料の希少性・耐久性に配慮した展示手法を充実させます。
- ③ 展示室の狭さや収蔵資料の不足を補うために、他の博物館・資料館との連携を考慮します。
- ④ 児童・生徒が主体的に学習できる体験メニューの充実を図ります。
- ⑤ 外国語の表記を取り入れます。
- ⑥ 環境負荷を軽減できる展示手法を導入します。
- ⑦ ユニバーサルデザインに配慮します。

5 運営

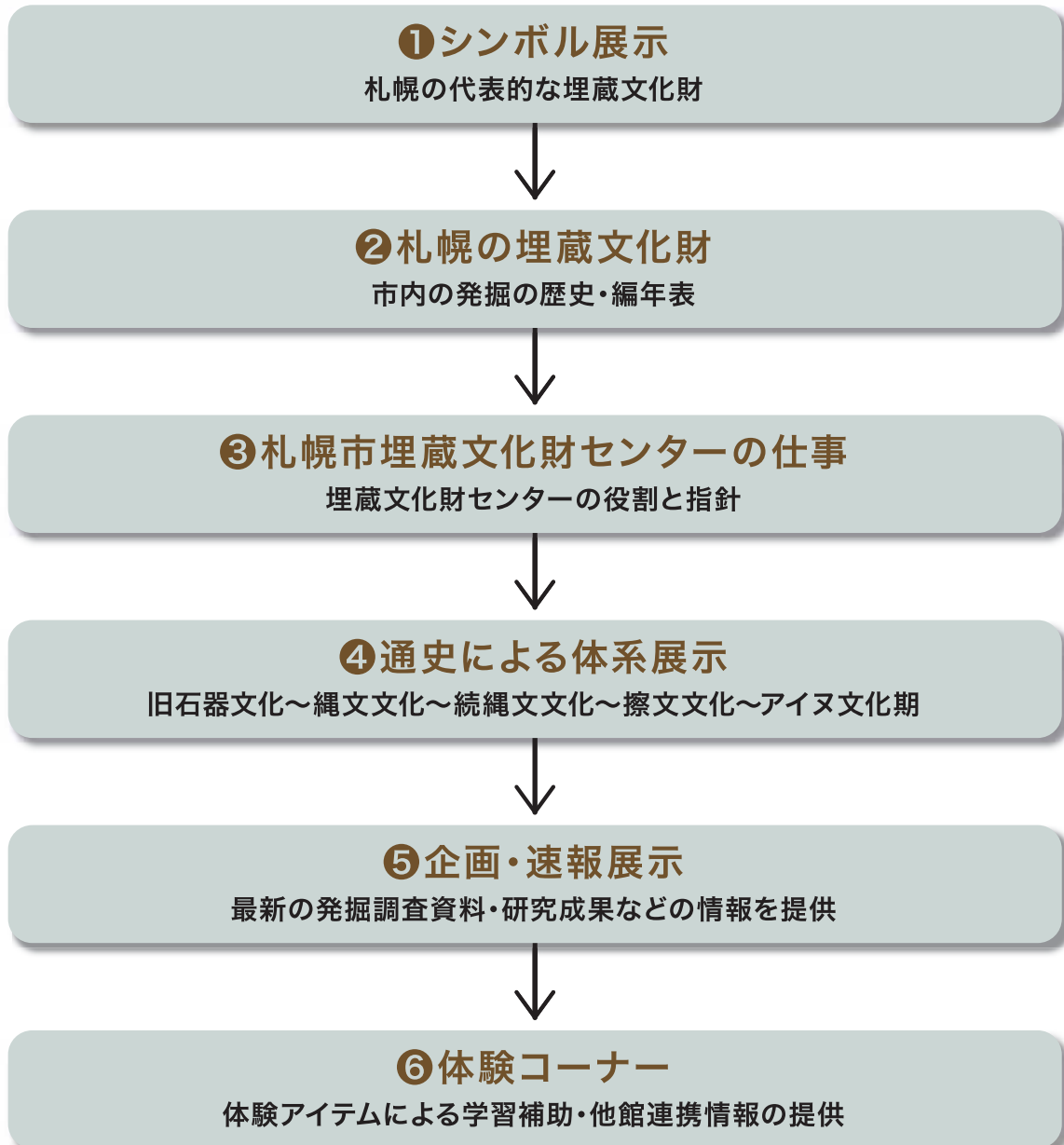
埋蔵文化財展示室の運営については、下記の点を考慮する必要があります。

- ① 展示解説の内容や方法を工夫し、対象者に応じた解説メニューなどの充実に努めます。
- ② 中央図書館と併設された特徴を活かし、学校教育や生涯学習での相互利用の機会を増やして連携を深めます。

埋蔵文化財展示室更新の基本計画

1 展示計画の考え方

埋蔵文化財展示室更新基本方針に基づいて、既存の展示室空間を6つの空間に再構成し、展示スペースを増やすとともに展示品の刷新と充実を図ります。



2 展示構成のポイント

①シンボル展示

札幌市指定有形文化財を中心に、市内で発見された代表的な埋蔵文化財を象徴的に配置し、視覚的な効果を演出します。

②札幌の埋蔵文化財

札幌市における発掘調査の歴史を紹介するとともに、市内の遺跡分布や編年表をとおして、過去の空間的・時間的な概要を把握してもらい、札幌の先史文化を知るための入口へ導きます。

③札幌市埋蔵文化財センターの仕事

埋蔵文化財センターの設置趣旨、役割を表示するとともに、センターでの仕事を紹介し、文化財保護の理念、埋蔵文化財行政の意義を解説します。

④通史による体系展示

旧石器文化からアイヌ文化期まで、順を追って実物資料とグラフィック解説を配置し、札幌の過去数万年間を追体験してもらいます。また、可変展示を導入し、時代ごとの札幌の地域的な特色などを織り交ぜながら、歴史への理解を深めます。

⑤企画・速報展示

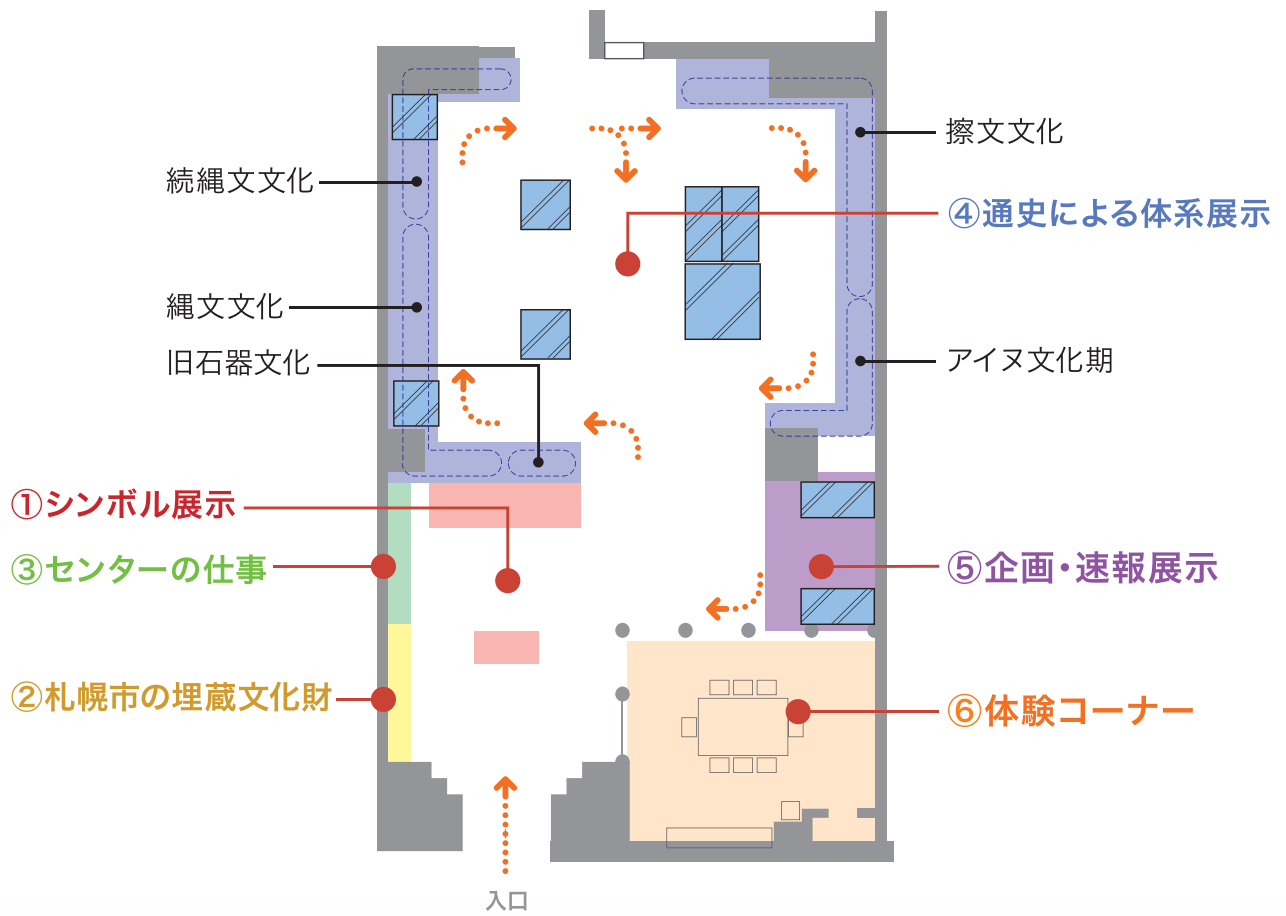
最新の発掘調査成果をいち早く紹介する市内発掘調査速報展や、収蔵資料を活用しながら様々なテーマで企画展示を行い、埋蔵文化財センターの活動や研究成果をトピック的にお知らせします。

⑥体験コーナー

パソコンを活用し、市内の遺跡紹介や、クイズ、土器づくりや石器づくりを疑似体験できる情報ツールを設置するほか、火起こし道具や土器パズルなどの体験アイテムを配置し、歴史への興味や学習意欲を促します。

また、関係他館などの情報を提供します。

埋蔵文化財展示室 更新平面配置図



埋蔵文化財展示室 イメージパース



3 情報計画

①わかりやすく

展示室内を一新して、最新の研究成果を盛り込むとともに、出土遺物や解説を利用して、札幌の歴史の流れをわかりやすくします。

②おもしろく

システムパネル導入により展示スペースを増やし、実物資料の展示と解説グラフィックを充実させるとともに、利用者の興味を引くデザインで展示室空間全体の調和と統一を図ります。

③やさしく

サイン、グラフィック、外国語表記を充実させるとともに、展示位置、文字サイズ、ルビの表示など、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた情報提供を行います。

④あたらしく

展示に最新の発掘調査成果を取り入れて、いつ訪れても目新しく、学ぶことが楽しくなるデザインにします。

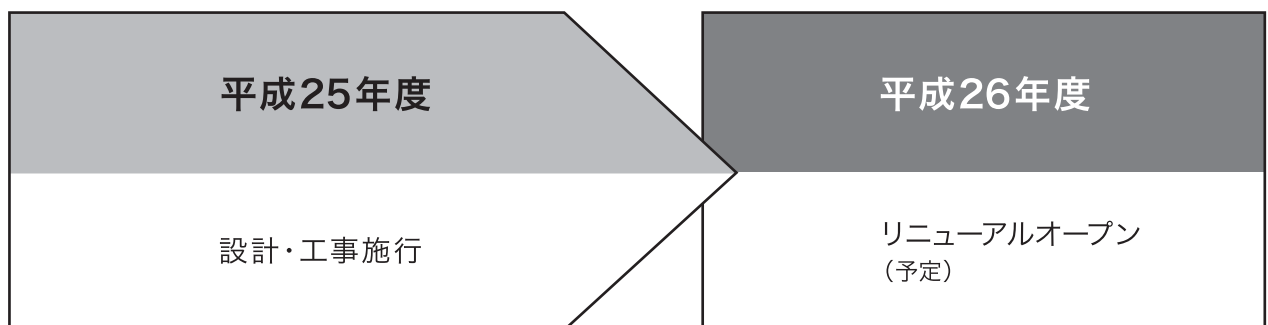
展示グラフィックイメージ



4 運営計画

- ①市民及び国内外から訪れる観光客など、多様な利用者の関心に応え、札幌の埋蔵文化財情報を発信していきます。
- ②埋蔵文化財展示室を中心とした普及啓発活動を充実させていくために、年間計画の策定・管理を行い、周知していきます。
- ③北海道内・市内の関連施設を紹介するとともに、関連施設との連携を図り、市民への情報提供を充実させていきます。

第6章 更新に向けた今後の計画



編集・発行

札幌市観光文化局文化部文化財課埋蔵文化財係
札幌市埋蔵文化財センター

〒064-0922 札幌市中央区南22条西13丁目
TEL.011-512-5430 FAX.011-512-5467
<http://www.city.sapporo.jp/kankobunka/maibun/>

